

た か だ こ ら む

九州工業大学とのトップ会談開催

2021年11月24日（水）、当社において、九州工業大学 尾家学長と高田社長とのトップ会談が開催されました。九州工業大学からは、尾家学長をはじめ、三谷理事、中原本部長、平川マネージャー、宮崎教授、堀尾教授、二保准教授、諫山教授の計8名の方にご参加いただきました。

当社は、2002年から九州工業大学に寄附講座「プロアクティブメンテナンス（TAKADA）講座」を開設し、そして2018年からは共同研究講座として「プラントライフサイクルエンジニアリング（PLE-TAKADA）講座」を設置しました。更に2021年からはその第二期が始まり、九州工業大学の先生方と共同で事業上の課題解決の取り組みを継続しております。

トップ会談を始めるにあたって、まず、尾家学長からご挨拶をいただき、三谷理事から同校における共同研究講座の近況についてご説明いただきました。その後、第一期の実績と当社への展開、および第二期の研究テーマの説明があり、各先生からは第二期で取り組む研究課題を紹介していただきました。

トップ会談では、高田社長から当社を取り巻く環境を説明し、採用面やインターンシップなどについて意見交換を行い、尾家学長からは本講座による研究成果が互いに有意義なものであることを期待しているとのご意見もいただきました。

会談後は、当社テクニカルセンターで、超音波カッティング装置の最新機種「CSX501」や電流情報量診断システム「T-MCMA」の診断の様子などを見学していただきました。

今後も九州工業大学と連携して、共同研究講座を通じてさまざまな研究を推進していきます。

山崎 義彦（企画開発部）



会談後の記念撮影（写真中央 左から高田社長、尾家学長）